

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-521126(P2004-521126A)

【公表日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-027

【出願番号】特願2002-567281(P2002-567281)

【国際特許分類第7版】

C 07 C 317/10

A 61 K 31/10

A 61 P 35/00

C 07 C 321/20

【F I】

C 07 C 317/10

A 61 K 31/10

A 61 P 35/00

C 07 C 321/20

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

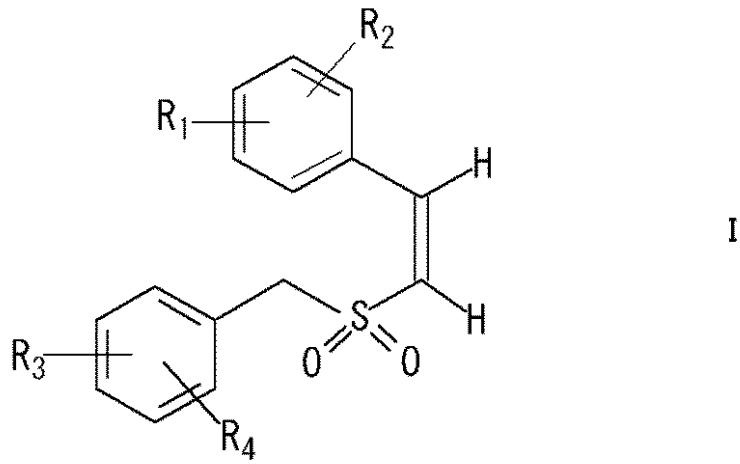
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次式(I)：

【化1】



(式中、

R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>は独立してハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、ニトロ、シアノ、カルボキシ、カルボキシ(C<sub>1</sub>～C<sub>3</sub>)アルコキシ、ヒドロキシ、(C<sub>2</sub>～C<sub>6</sub>)ヒドロキシアルキル、ホスホナト、アミノ、(C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>)アシルアミノ、スルファミル、アセトキシ、ジ(C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>)アルキルアミノ(C<sub>2</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ)及びトリフルオルメチルよりなる群から選択され、

R<sub>3</sub>及びR<sub>4</sub>は独立して水素、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、ニト

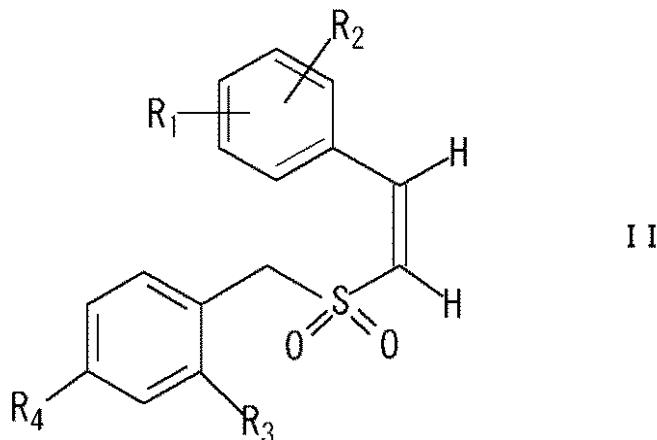
口、シアノ、カルボキシ、カルボキシ( $C_1 \sim C_3$ )アルコキシ、ヒドロキシ、( $C_2 \sim C_6$ )ヒドロキシアルキル、ホスホナト、アミノ、( $C_1 \sim C_6$ )アシルアミノ、スルファミル、アセトキシ、ジ( $C_1 \sim C_6$ )アルキルアミノ( $C_2 \sim C_6$ アルコキシ)及びトリフルオルメチルよりなる群から選択される)

の化合物又は薬剤として許容できるその塩。

**【請求項2】**

次式(II)：

**【化2】**



(式中、 $R_1$ 及び $R_2$ は独立してハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、ヒドロキシ及びアセトキシよりなる群から選択され、 $R_3$ 及び $R_4$ は水素、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ及びアミノよりなる群から選択される)

である請求項1に記載の化合物又は薬剤として許容できるその塩。

**【請求項3】**

薬剤として許容できるキャリヤー及び請求項1又は2に記載の少なくとも1種の化合物を含む医薬組成物。

**【請求項4】**

請求項1又は2に記載の化合物の、細胞増殖性障害の治療用薬剤の製造のための使用。

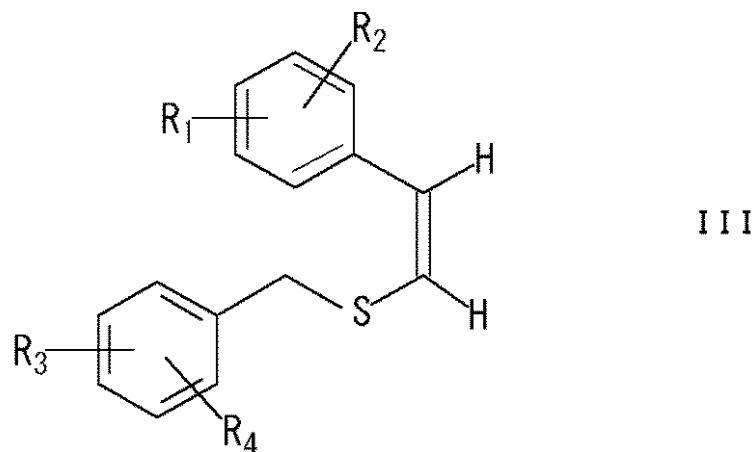
**【請求項5】**

細胞増殖性障害が癌、新生児の血管腫症、二次進行型多発性硬化症、慢性進行性脊髄変性疾患、神経線維腫症、神経節神経腫症、ケロイド形成、骨パジェット病、乳房線維囊胞病、ペロニー・デュブトレン線維症、再狭窄及び硬変症よりなる群から選択される請求項4に記載の使用。

**【請求項6】**

次式(III)：

【化3】



(式中、

R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>は独立してハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、ニトロ、シアノ、カルボキシ、カルボキシ(C<sub>1</sub>～C<sub>3</sub>)アルコキシ、ヒドロキシ、(C<sub>2</sub>～C<sub>6</sub>)ヒドロキシアルキル、ホスホナト、アミノ、(C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>)アシルアミノ、スルファミル、アセトキシ、ジ(C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>)アルキルアミノ(C<sub>2</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ)及びトリルフルオルメチルよりなる群から選択され、

R<sub>3</sub>及びR<sub>4</sub>は独立して水素、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、ニトロ、シアノ、カルボキシ、カルボキシ(C<sub>1</sub>～C<sub>3</sub>)アルコキシ、ヒドロキシ、(C<sub>2</sub>～C<sub>6</sub>)ヒドロキシアルキル、ホスホナト、アミノ、(C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>)アシルアミノ、スルファミル、アセトキシ、ジ(C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>)アルキルアミノ(C<sub>2</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ)及びトリフルオルメチルよりなる群から選択される)  
の化合物。